

令和4年度公立大学法人北九州市立大学評価委員会（第2回）議事要旨

- 1 開催日時 令和4年5月24日（火）10:00～11:05
- 2 開催場所 オンライン会議（北九州市役所5階プレゼンルーム）
- 3 出席委員（五十音順：敬称略）
井上 洋美、権頭 喜美恵、勢一 智子、安浦 寛人、吉谷 愛

4 議事内容

（1）第4期中期目標（案）について

- ア 事務局から、第4期中期目標（案）について説明
- イ 主な意見

- （委員）目標は、あらゆる分野を網羅するため総花的にならざるを得ないが、次期目標では何を重点的に強化していくのかが見えると、市民や企業にも分かりやすい。
- （委員）教育分野に「地域や社会に求められる人材の育成」とあるが、「求められる」という表現が学生の枠を狭めているように感じるので、学生が地域を作っていくような表現に変更していただきたい。
また、リカレント教育における「人生100年時代」という言葉もシニア世代を想像させるため、すべての世代を対象とした表現に変えていただきたい。
- （委員）「～のあり方について検討する」という表現が、教育分野と地域（社会）貢献分野の計2箇所にある。「検討する」こと自体を目標にするのは不適切であり、業務実績の達成度合を評価する際にも疑義が生じるため、適切な表現に変更していただきたい。
- （委員）コロナ禍で人の繋がりが希薄化する中、学生のやりがいや生きがい、居場所づくりの観点から、学生の発信の場づくりへの支援をお願いしたい。
- （委員）社会情勢が変化し、様々な物事を定義から見直す時期が来ている。地元就職の場合も、「地元で就職する」、「起業する」、「起業家を支える」等のそれぞれの意味をどう定義するのか、中期計画においてそれを明確にすることでゴールを共有できる。
- （委員）役員会は、常時、目標達成に向けた大学の運営を注視しているはずであり、また、それが教職員の活動とも結びついているはずである。中期計画において、役員会の役割及び役員会と教職員の活動との関わり方について、明確化していただきたい。